

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表 令和 8年 3月 11日

事業所名 池田町放課後等デイサービス とらいあぐる

	チェック項目	○	△	×	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			・活動内容により使用する部屋を変えたり、利用児童の状態を見て過ごす部屋を分け、柔軟な対応を心が	
	2 職員の配置数は適切である	6	1		・安全を確保するため人員基準以上の配置をしています。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	2		・各部屋がバリアフリーとなっています。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	1		・定期的な会合等で課題や支援内容について意見を出し合い、文書にし回覧、情報共有に努めています。	・就労日数の少ない職員への伝達等周知徹底をする事。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	1		・保護者の意向を反映した取り組みを、工夫、調整しながら行っています。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1		・ホームページに公表しています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	1	3	・現在は外部評価は受けていません。	
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1		・受講可能な研修はなるべく参加し、その後伝達研修を行っています。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	1		・定期的に面談を行い、子供の状態を把握し、計画に反映するよう努めています。	・必要であれば随時アセスメントし、成長していく子供に合わせたいと思います。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1		・現在は独自のアセスメントツールを使用しています。	・今後検討していきたい。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5	2		・定期的な会合等で意見を出し合い、支援について振り返りながら、プログラム作りをしています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	1		・1ヶ月の中でバランスよく活動が行われるようにしています。	・もっとアイデアを出し合い色々取り入れたいと思います
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	1		・長期休暇には時間があるから出来る課題等を設定しています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	1		・子どもの状況に合わせて、柔軟に組み合わせています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			・活動前に職員の役割分担等、確認をしています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7			・支援内容の振り返りを行い、次につなげられるように努めています。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1		・子どもの状態を毎日記録し、支援内容の改善に繋げています。	
関係機関や保護者との連携	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	1		・定期的に懇談を行い、計画の見直しをしています。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	6	1		・利用状況に合わせて組み合わせています。	
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	1		・児童発達支援管理責任者が参画しています。	・担当職員も必要に応じて参画したいと思います。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	2		・必要に応じて電話連絡をしたり、学校へ迎えの際に担任から話を聞く等しています。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	5		・現在対象児童はいません	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	4		・児童発達支援事業所と連携をとっています。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	2		・必要に応じて情報提供をしています。	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	3		・オンライン研修が増え、受講する機会が増えました。	・今後も研修に積極的に参加し、職員の資質の向上に努めたい。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	4	1	・時間、場所の移動等現実的に難しいです。	

	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	1		・自立支援協議会に参加しています。	・町に働きかけたいと思います。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			・お迎え時等、保護者とコミュニケーションをとり、情報共有に努めています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	2	3	・ペアレント・トレーニングは行っていませんが、相談等あれば対応しています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	1		・契約時、変更時には資料を用いて説明をしています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	1		・送迎時や随時お話を聞く機会を設けています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3	3	・保護者会の開催はしていませんが、今後ご要望があれば検討します。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1		・苦情について、契約時に重要事項説明書にてお伝えしています。また苦情等の話があった際には、迅速に改善できるよう努めています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	3		・広報で事業案内、インスタグラムの投稿、室内に活動の様子を貼り出しています。	
	35	個人情報に十分注意している	7			・個人情報には鍵のかかる場所で保管しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	1		・子供に合わせて、情報伝達の配慮をしています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	1	1	・広報にて定期的に事業の紹介をしています。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7			・各種マニュアルはあるが、保護者まで周知はしていません。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			・月に2回、パターンを変え避難訓練を行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			・研修会に参加し、職員全員に伝達しています。また月に1回振り返りチェックをしています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	1		・現在対象児はいません	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	2		・面談時にアレルギーの有無について確認しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			・定例会にて職員全員で共有し改善策を検討しています。	